

リン資源リサイクル推進協議会 平成 26 年度事業計画

リンは、植物や動物の生体を構成する主要な元素であるとともに、生命活動の維持に必要なエネルギーの獲得に関する重要な機能を担っているなど、欠くことのできない必須元素であり、化学肥料、工業製品、食品添加物等に、大量にかつ幅広く利用されている。

一方、原料となるリン鉱石は限られた国に偏在しており、このままリンの需要量が増加傾向で推移すれば、今世紀の後半には経済的に採掘可能なリン鉱石が枯渇するというようなシナリオも発表されている。また、近年の世界的な食料需要の増加やバイオ燃料生産等によるリン酸質肥料の需要増大を一因とするリン鉱石価格の急騰等、国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っているわが国においては、資源の安定供給面からも不安材料となっている。

このような状況に対処するため、わが国は国内で使用したリンの回収・再利用や、未利用リン資源の利用技術を開発する必要に迫られている。

リン資源リサイクル推進協議会は、このような背景のもと、都市下水、含リン廃棄物、製鋼スラグ等の未利用リン資源からのリン回収技術や農業及び工業分野における省リン技術の開発促進、工業用リン酸や黄リン製造技術の革新等の技術の検討を行い、リン資源の回収とリサイクルに関する事業化の促進を行うとともに、リンの回収と再利用を円滑に進めるための事業者間連携や再生リンの利用を促進するための施策の提言等について、産学官の幅広い関係者が一体となって、行政の縦割りや民間企業間の壁を越えたオールジャパンのレベルで戦略的かつ総合的な検討を行い、もってリン資源に関する持続可能な循環型社会の構築と地球環境保全に寄与することを目的として、平成 20 年 12 月 18 日に設立した。

設立後は、ホームページの開設やメールニュースの配信等により協議会としての活動を開始し、NEDO等関係機関との連携や会員への支援等の事業活動を行いながら、リン資源リサイクルの実現に向けた課題や方策等の検討を行った。

平成 21 年度からは、主として回収から利用までのリン資源リサイクル実現に向けた取組を推進するため、多様な回収や利用の技術、関係省庁等の取組について情報提供と意見交換を行い、関係事業者間のマッチングや関係省庁・機関との連携強化を図ることを目的としたシンポジウムを毎年 2 回開催するほか、先進的なリン資源リサイクル事例の視察、リン資源のリサイクルに関する活動についてその一層の推進及びそれに従事する者の一層の意欲向上に資するための功績者表彰、会員等への相談・支援や活動の後援・協賛、メール配信等による情報の提供と共有を行ってきた。

また、平成 25 年度には会員区分として新たに特別会員を設け、わが国におけるリン資源の持続的な確保と環境管理に関する国家戦略を立案するための学際・総合的プラットフォームとして平成 23 年度に立ち上げた「リン資源の確保と管理に関する産官学戦略会議」を、特別会員の参画による組織として協議会内に位置付け、想定される危機シナリオに対する問題解決のためのより詳細な調査や、国際的な枠組み作りにも対応したわが国のリン資源戦略の具体的な立案と政策提言に向けた検討を行うとともに、前年度に引き続いて海外のリン資源リサイクル関係者とも積極的な交流を行った。

平成 26 年度は、引き続き回収から利用までのリン資源リサイクルの実現化を一層推進するため、例年実施しているシンポジウム、先進事例視察、功績者表彰、情報の提供と共有、相談・支援業務の充実、会員の活動に対する後援・協賛等を積極的に行うことに加えて、海外のリン資源リサイクルの取組が急速に進んでいる状況を鑑みて、海外の有識者や関係機関とより積極的に交流を行い、わが国におけるリン資源の確保と管理に関するあり方について社会的認知度を高める活動やアジア等海外に日本の技術や取組を発信する活動を重点的に行なう。

1. 会務の運営

(1) 総会 (1回開催)

1) 第7回総会

開催日：平成26年7月24日(木)

(第11回シンポジウムと合わせて開催)

場 所：インテックス大阪 国際会議ホール(大阪府大阪市)

参集者：関係省庁等来賓、会員、取材、事務局

内 容：平成25年度事業報告及び決算、平成26年度事業計画及び予算、役員の選任、名誉会員、平成26年度リン資源リサイクル推進功績者表彰、その他

(2) 幹事会 (3回開催)

1) 第17回幹事会(平成26年度第1回)

開催日：平成26年5月28日(水)

場 所：日本肥料アンモニア協会 会議室(東京都千代田区)

参集者：役員、オブザーバー(関係省庁)、事務局

内 容：第7回総会議案(平成25年度事業報告及び決算、平成26年度事業計画及び予算、役員の選任、その他)、平成26年度リン資源リサイクルシンポジウム、事例視察、功績者表彰、その他

2) 第18回幹事会(平成26年度第2回)

開催日：平成26年9～10月

場 所：東京都内

参集者：役員、オブザーバー(関係省庁)、事務局

内 容：普及啓発事業、平成26年度リン資源リサイクルシンポジウム、事例視察、その他

3) 第19回幹事会(平成26年度第3回)

開催日：平成27年2～3月

場 所：東京都内

参集者：役員、オブザーバー(関係省庁)、事務局

内 容：平成27年度事業計画及び予算、その他

なお、必要に応じて文書審議による幹事会を開催する。

(3) 企画委員会 (3回程度開催)

開催日：幹事会前を基本として必要に応じて開催

場 所：東京都内

参集者：委員、役員、事務局

内 容：協議会の活動計画、内外に対する提言、その他

(4) 監査会

1) 平成25年度事業監査

開催日：平成26年5月28日(水)

場 所：一般社団法人日本有機資源協会 会議室(東京都中央区)

内 容：平成25年度事業監査

2. 事業活動

(1) 技術調査事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する技術、関係機関の活動状況、国際的な動向等の情報収集及び関係機関との情報交換等による連携活動により、リン資源リサイクルに関する調査・検討を行うものであり、平成 26 年度は以下の事業に取り組む。

1) リン資源の確保と管理に関する産官学戦略会議（4 回程度開催、場所：東京都内）

わが国におけるリン資源の持続的な確保と環境管理に関する国家戦略を立案するための学際・総合的プラットフォームとして、想定される危機シナリオに対する問題解決のための戦略を明らかにして、国際的な枠組み作りの動向にも対応したわが国の国益に資する政策提言を行う。

平成 24 年度までは普及啓発事業として、主にリン資源リサイクルの現状や推進に向けた課題等について情報共有と意見交換を行ってきたが、平成 25 年度からは特別会員の積極的な参画による組織として、より詳細な調査や具体的な戦略立案に向けた活動を行っており、平成 26 年度も引き続きリン資源リサイクルに関する多様な分野における課題の抽出、情報の共有化、課題解決に向けた議論を行う。

①第 11 回

開催日：平成 26 年 5 月 28 日（水）

場 所：日本肥料アンモニア協会 会議室（東京都千代田区）

出席者：役員、特別会員、学識者、オブザーバー（関係省庁、関係機関等）、事務局

内 容：話題提供（回収リンの肥料利用に関する情報提供、し尿処理・浄化槽分野におけるリン回収・資源化に関する現状や課題等の最新動向、第 1 回持続的リン利用シンポジウムのアンケート結果）、討議、その他

②第 12 回

開催日：平成 26 年 9～10 月（幹事会と同日開催予定）

③第 13 回

開催日：平成 27 年 1 月

④第 14 回

開催日：平成 27 年 2～3 月（幹事会と同日開催予定）

2) 関係機関等との連携

会員等が取り組んでいる三井物産環境基金プロジェクト、チームとして参画している水の安全保障戦略機構、会員として参画している産業連携ネットワーク、国際リン・ガバナンス研究会、協議会会員団体等の、リン資源リサイクルに関する関係機関等の活動に参加し情報収集を行うとともに、必要に応じて本協議会の活動状況の発信や提言等を行う他、リン資源リサイクルに関する関係省庁の施策や研究機関・関係機関の活動との連携を積極的に行い、情報の共有化や活動の効率化を図る。

(2) 普及啓発事業

本事業は、リン資源リサイクル推進のための情報提供や情報交換等の普及啓発活動を行うものであり、平成26年度は以下の事業に取り組む。

1) リン資源リサイクルシンポジウム

①第11回

開催日：平成26年7月24日（木）

（第7回総会と合わせて開催）

場 所：インテックス大阪 国際会議ホール（大阪府大阪市）

参集者：関係省庁等来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する国内外の動向、各種技術、事業実施例等に関する学識者や民間企業等からの発表及び報告と意見交換、関係事業者のマッチング

①第12回

開催日：平成26年11月21日（金）

場 所：東京証券会館ホール（東京都中央区）

参集者：関係省庁等来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する国内外の動向、各種技術、事業実施例等に関する学識者や民間企業等からの発表及び報告と意見交換、関係事業者のマッチング

2) リン資源リサイクル事例視察

①第6回

開催日：平成26年7月23日（水）、25日（金）

場 所：23日（水）大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）
大阪沖埋立処分場

25日（金）兵庫県神戸市東灘処理場（東水環境センター）

KOBE ハーベスト（大収穫）プロジェクト

参集者：会員、関係省庁

内 容：リン資源リサイクルに関する先進的な取組事例等の視察と意見・情報交換

②第7回

開催日：平成26年10月5日（日）～12日（日）

場 所：ドイツ、スイス、オランダ

参集者：会員、関係省庁

内 容：リン資源リサイクルに関する海外の取組事例の視察と意見・情報交換

3) リン資源リサイクル推進功績者表彰

リン資源リサイクルについて、その一層の推進及びそれに従事する会員等の一層の意欲向上に資するために、リン資源リサイクルに関して優れた功績をあげた会員等に対する表彰を行う。

<過年度受章者>

平成22年度リン資源リサイクル推進功績者：岐阜市上下水道事業部

平成23年度リン資源リサイクル推進功績者：秋田県仙北市 仙北市環境保全センター

平成24年度リン資源リサイクル推進功績者：福岡市 道路下水道局

平成25年度リン資源リサイクル推進功績者：兼定興産株式会社

4) 協議会メールニュースの配信

本協議会活動（会員動向、シンポジウム等の開催案内、事務連絡等）、リン資源リサイクルに係る関係省庁の施策や公募等の情報、関係機関の活動、リン資源リサイクルに関する会員、新聞、情報誌、WEB 等からの情報について、電子メールによる提供と共有を行う。

5) ホームページの運営

協議会事務局である一般社団法人日本有機資源協会ホームページ内の協議会専用ページにおいて、入会案内、協議会案内、会員名簿、行事・イベント等の、本協議会活動の広報を主体としたホームページの運営を行う。

6) その他

報道関係者、一般等からの問い合わせ（協議会の概要や活動、会員等の紹介、入会手続き等）への対応を行う。

(3) 業務支援事業

本事業は、会員等からのリン資源リサイクル推進に関する種々の要請、要望あるいは問合せ等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行うものであり、平成 26 年度は以下の事業に取り組む。

1) リン資源リサイクルに関する相談・支援

会員等が、リン資源リサイクルの事業化や研究・開発等を推進する際の様々な課題や知見等について、随時、要請や問い合わせを受けて、情報及び資料の提供、面談指導、役職員等の派遣等を行う。

2) リン資源リサイクル推進活動の後援・協賛

会員等が行うリン資源リサイクル推進に関する活動に対して、会員への優遇の有無等その内容に応じて、幹事会による討議を経て、経費や名義による後援、協賛等の支援を行う。

3) その他

関係省庁や連携機関、会員等からの問い合わせへの対応を行う。